

「みんなの暮らし 新時代」 mikeeta(ミケタ)1100歳(が) 愉しみになる社会づくり

カレア

いつまでも笑顔で暮らせる社会を実現したい。そんな想いを込め、カレア(英文名 CAREA: 大田区久が原、田口善彦社長、03・6410・3296、[https://www.office-carea.co.jp/](http://www.office-carea.co.jp/))は、

フィットネス、太極拳、脳トレプログラムなど、とにかくエンターテインメント性あふれる先進的なプログラムをスタッフ一丸で創り上げている。

この自由な発想に基づく開発力

Comfort Aging AREAから社名を採った。大田区と中野区で、デイサービスや小規模多機能型居宅介護を運営する中で、日々新たなコンテンツの開発に力を注ぎ、介護の枠を超えたサービスを提供し続けている従来にならぬタイプのシニアサポート企業である。

介護保険に基づく食事や入浴、排泄に体操といった介助だけでなく、同社は「mikeetaハッピープログラム」と銘打ち、外出やお泊り旅行、プロ・アマ・スタッフに地域住民も巻き込んだ音楽コンサートや、心と体と頭を元気にする



ライラック祭りでのMCI(軽度認知障害)チェックの様子



地域交流イベントのバザー



夢中になって笑顔弾けるカジノイベント

と実行力は、同業他社や地域の団体、行政などさまざまな分野からも注目を集め、企画依頼や運営サポート、講演など、直営事業以外にも活動範囲を広げている。地域の方がフィットネスに訪れる「ふらつと久が原」や音楽好きの集まり「音楽ひろば」、地域交流イベントの「カレア倶楽部」の開催や、商店会やNPO主催のイベントでのMCI(軽度認知障害)チェックやスマート脳トレ教室など、同社スタッフの活躍は、忙しい介護従事者の明るい未来を感じさせる。

田口社長が見据えるのは、アジアや世界をも視野に入れた、介護保険制度に頼らない社会づくり。「かつての車や造船、家電のように、日本が世界に翔くチャンスだ。再び日本を世界のトップにした」と意気込む。